

みんなの広場

第30回市民音楽祭

ふるさとの明日を歌おう！

誰もが自由に参加し、楽しむことができる市民参加型の手作りの音楽祭『市民音楽祭』が、市民センターであり、13団体が出演しました。新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、観客は出演団体のみとなりましたが、実行委員会の大野梨花委員長は、「コロナ禍で開催できることへの感謝の気持ちを込めて披露したい」と話しました。



↑伊万里中学校吹奏楽部の迫力ある演奏で音楽祭がスタート

いまりプラザ講座『絵本で子育て☆親育て』

～くらしに絵本 de あったまろう～

音楽を盛り込んだ絵本の読み語りライブが、音楽と絵本の読み語りグループ『SORA』を講師に招いて市民センターであり、親子14組が参加しました。このライブは、男女協働参画の大切さを伝えるための啓発活動を行う『いまりプラザ』が主催し、参加した親子がメロディに合わせて一緒に歌い、会場は温かい空気に包まれていました。



↑羽柴よしえさん（右から2人目）と岩野聡子さん（同1人目）の歌声と伴奏にあわせて広がる読み語りの世界

伊万里プログラミングスクール

やりたいことにチャレンジ

市の将来を担うIT人材の育成を目的に、市内の中学・高校生を対象とした伊万里プログラミングスクールがPORTO3316IMARI（伊万里町）で開講しました。2種類の講座から選択し、アプリケーション・ソフトウェアの開発などを行うタイムカプセル株式会社の社員を講師に、オリジナルサイトなどの作成方法を8回に分けて学びます。



↑ポイントを一つ一つ押さえながら学ぶ参加者たち

『伊万里アクセラレータ』キックオフミーティング

伊万里活性化のアイデアが集結

伊万里を活性化するためのアイデアを募集した『伊万里アクセラレータ』に、19事業の応募があり、審査の結果、6団体・個人が採択されました。市役所でのミーティングに参加した総監修を務める一般社団法人INSPIRE代表理事の谷中修吾さんから説明を受け、これから3月の成果発表会に向けて、事業アイデアを練り上げていきます。



↑ミーティングに参加して意気込みを確認め合う6団体・個人と総監修の谷中さん（後列右から2人目）と関係者の皆さん

ソーシャルインキュベーションラボ in 伊万里

学生主導の新商品販売店が限定オープン

伊万里を舞台に、新しい6次産業ビジネスを検討する青山学院大学ヒューマン・イノベーション・コンサルティング株式会社の事業の一環で、長崎県立大学の学生が伊万里実業高校フードビジネス科とコラボし、伊万里の素材を使った新商品のクッキーなどを伊万里駅前公園で販売。好調な売れ行きに、学生たちも手応えを感じている様子でした。



伊万里のよさを伝えるために学生たちが協力



↑スーパーフードの『モリンガ』と『波浦の塩』を使ったクッキーなどを新しく開発して販売

いきいき百歳体操ステップアップ講座

いきいきと暮らすために

地域の人たちが運営する通いの場で、人と人とのつながりや運動を継続することにより、いきいきとした生活が送れる地域づくりを目指し、いきいき百歳体操ステップアップ講座が市民センターでありました。認知症予防のための講演や認知機能を高める運動の実技があり、参加者は「自宅で実践できるように」と聞き入っていました。



↑認知症予防の講演を行う山元記念病院 小川健一医師（右）と実技を指導する西田病院 宮田直樹理学療法士

魅力あふれる夢のまち 伊万里ウオーク 2021

歩いて巡り、秋の伊万里を堪能

市内のさまざまな名所を歩いて巡る『伊万里ウオーク 2021』がありました。市内外の参加者約 740 人が、伊万里湾岸・大川内山・市街地の3つのコースに分かれ、伊万里湾のパノラマや大川内山の紅葉、古伊万里文化が漂う景観を堪能。チェックポイントでは、菓子や飲み物などがふるまわれ、秋空の下、参加者は思い思いに楽しんでいました。



色づく紅葉で情緒あふれる大川内山



↑白壁土蔵の通りで古伊万里文化を味わう参加者

交通安全とバスの乗り方教室

交通ルールはしっかり守ろう

黒川小学校で1・2年生を対象に、交通安全とバスの乗り方教室がありました。これは、子どもたちへの交通安全教育の推進と、公共交通の利用促進を目的としたものです。子どもたちは、伊万里警察署と西肥自動車株式会社の職員によるクイズで交通ルールなどを学び、実際にバス乗って、乗車中に注意することや料金の支払い方法などを学びました。



↑ペットボトルを使って、バスの近くで遊ぶことの危険性を学ぶ児童たち